

故亀田憲弘氏が死亡叙勲を受章

消防行政の発展に尽力

昨年10月に亡くなられた元小野町消防団長の亀田憲弘氏(平館)が栄えある瑞宝双光章を授与されました。これは、生前の功労に報いるため、対象者が死亡した場合に授与される国の勲章です。

亀田さんは、昭和44年小野町消防団員を拝命されました。平成9年には団長に任命され、13年間団長を務めました。平成22年の退団まで41年の長きにわたり、本町の消防活動と円滑な消防団運営および防火思想の普及促進に尽力された功績が認められたものです。

受章伝達式は3月9日に役場で行われ、妻のヒロ子さんに松崎浩司県中地方振興局長から伝達されました。



左から渡邊団長、松崎県中地方振興局長、亀田さん、町長、副町長



左から川野自衛隊福島地方協力本部長、先崎さん、瀬谷さん、町長、宗像小野町自衛隊家族会長

自衛隊入隊予定者を激励

自衛隊に入隊予定の先崎洋樹さん(平館)と瀬谷太聖さん(反町)の激励会が3月9日に役場で行われました。

町長、川野静生自衛隊福島地方協力本部長、宗像芳男小野町自衛隊家族会長から2人に対し激励の言葉が述べられ、町と家族会から記念品が贈られました。

自衛隊は、日本の平和と独立を守る大きな責務を担っているほか、大規模な災害への対応、国際平和活動など、その役割は大変重要なものとなっています。国民の安全で安心な暮らしを守るため、2人のこれからのご活躍を期待します。

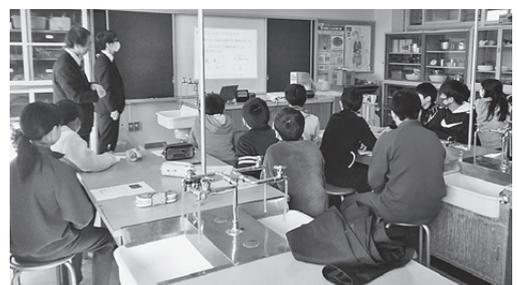
クリップモーターづくりに挑戦！

福島高専による出前講座

福島工業高等専門学校による出前講座が2月28日、飯豊小学校で行われました。

福島高専から2人の先生をお招きして、電磁石の仕組みやフレミングの法則について学んだ後、児童たちは実際にクリップモーターづくりに取り組みました。

この出前講座は、町と福島高専が「連携協力に関する協定書」を締結していることから実現したものです。



熱心に説明を聴く児童たち